

授業科目名 (英文名)	外書演習 (Advanced seminar)	科目区分 対象学生	
単位数	4.0	開講年次・ 学期	
担当教員	横山 由紀子	所属	経営学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>各学生が興味を持つトピックを題材にして、プレゼンテーション能力、論理的な文章を書く能力等の向上を目的とする。本講義の到達目標は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 論理的な文章構成能力の習得 2. 統計資料を用いて、数字の解釈および分析の方法の習得 3. ディスカッション・プレゼンテーション能力の習得 		
講義内容・授業計画	<p>講義内容</p> <p>各学生がそれぞれ自分の関心に応じたテーマで発表し、その内容について参加者全員でディスカッションをする。統計資料を用いて、分析能力の向上および論理的記述の方法を学ぶ。こうした活動を通じて、ディスカッション能力、プレゼンテーション能力、論理的な文章を書く能力等の向上を図る。</p> <p>授業計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. レジメによる発表・議論 3. レジメによる発表・議論 4. レジメによる発表・議論 5. レジメによる発表・議論 6. レジメによる発表・議論 7. レジメによる発表・議論 8. パワーポイントでの発表・議論 9. パワーポイントでの発表・議論 10. パワーポイントでの発表・議論 11. パワーポイントでの発表・議論 12. パワーポイントでの発表・議論 13. パワーポイントでの発表・議論 14. パワーポイントでの発表・議論 15. パワーポイントでの発表・議論 16. パワーポイントでの発表・議論 17. パワーポイントでの発表・議論 18. パワーポイントでの発表・議論 19. パワーポイントでの発表・議論 20. パワーポイントでの発表・議論 21. パワーポイントでの発表・議論 22. パワーポイントでの発表・議論 23. パワーポイントでの発表・議論 24. パワーポイントでの発表・議論 25. パワーポイントでの発表・議論 26. パワーポイントでの発表・議論 27. パワーポイントでの発表・議論 28. パワーポイントでの発表・議論 29. パワーポイントでの発表・議論 30. パワーポイントでの発表・議論 31. 評価 (到達度の確認) 		
テキスト	適宜指示する		
参考文献	適宜指定する。		
成績評価の基準・方法	成績評価の基準		

	<p>講義目的・到達目標に記載する能力の到達度に応じてSからCまでの成績を与える</p> <p>成績評価の方法</p> <p>議論参加点(50%)、プレゼンテーション(30%)、レポート(20%)を基準として総合的に評価する。意欲的なゼミへの参加が必須である。</p>
履修上の注意・履修要件	<p>少人数授業なので、各人の受講態度が授業の雰囲気形成します。意欲的ではない学生が1人でも存在すれば、他の学生の学習および能力向上の場は壊されてしまいます。自分の責任を十分認識し、欠席しない、予習して授業に臨む、等の最低限のマナーを守ることは言うまでもなく、意欲的・積極的なゼミ参加を期待します。</p>
実践的教育	該当しない
備考	担当教員の専門である労働経済学・社会保障論に基づく科目である。